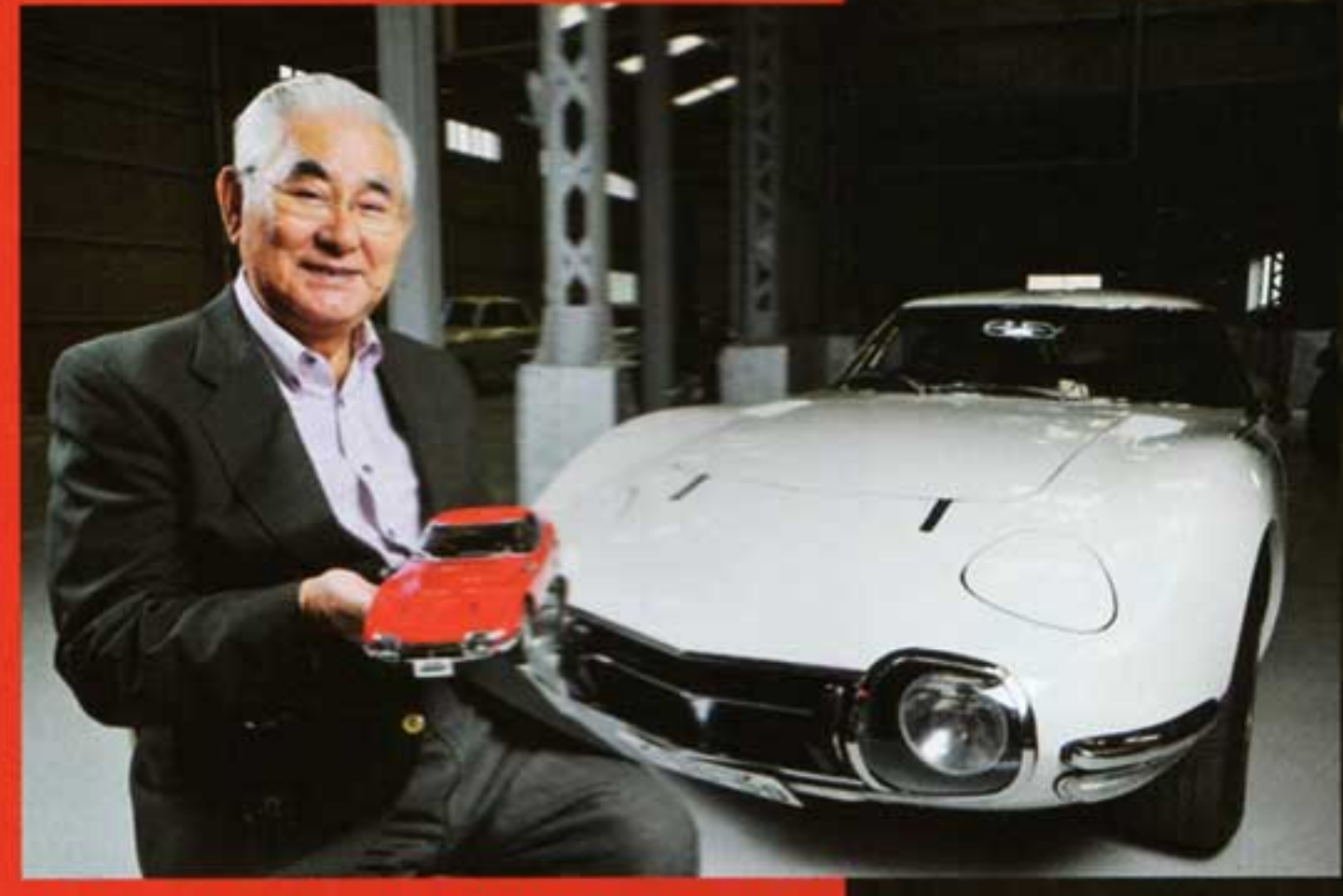


①今ではボンネットの特徴的なセンターラインがきれいにできていないクルマも少なくない2000GT。京商のモデルカーでは、そのプレスラインがきれいに再現されていることに細谷さんも大いに感心していた。②ボディサイドを流れるようにつながら一本のラインが2000GTの大きな特徴。実車と見比べて、そのラインがきれいに再現されていることも確認できた。③インテリアの作り込みにも感心しきり。④京商 グローバルマーケティング部の田中亮子さんから、ベガスホワイトの2000GTを渡され、笑顔がこぼれる細谷さん。⑤実際に製品設計・製作を主導したホビー営業部ダイキャストグループの岡部映広さんと製品について意見を交わす。⑥製品開発過程の資料写真を目にすると、自然といろいろな質問が飛び出した。実車開発にもかかわらず細谷さんだけに、製作サイドのこだわりの部分について共感を寄せていた。⑦計測データから再現した3Dキヤドデータを見た細谷さんは、思わず「すばらしくきれい。忠実に再現できている」と感心しきりだった。⑧細谷さんを囲んで田中さんと岡部さんとともに、グローバルマーケティングのマネージャーを務める矢嶋孝之さん(右端)とともに記念撮影。



製し、正確にスケールダウンしモデルカー化。縮小化の際、モデルによって各部にアレンジを加えることもありますが、今回は一切補正は加えていない。美しい2000GTのボディは、縮小してもバランスを崩すことなく、ひたすら美しさを保っている。これには、細谷さんも「野崎諭さんが描いた美しいボディライン、私は野崎ラインと呼んでいます。これが完璧に出ていて非の打ち所がない」と感心しきりだった。最後に、2台の2000GTを、ご自宅のどこに置くつもりか尋ねてみると、いったんは「いつでも眺めていたい

から書斎かな」と答えてくれた細谷さんだったが、すぐに、「やっぱり玄関だな。玄関なら誰が来ても真っ先に見える場所だし、みんなに見てもらいたいしね。2台だから飾りがいいもあります」と、子供のような笑顔で語ってくれた。常に見えるところ、手の届くところに置いて、一人で思う存分楽しみたいと思うと同時に、みんなにも見せたくてしかたなくなる。実車を誰よりも知り、誰よりも2000GTを愛する細谷さんを、そんな気にさせたsamuraiシリーズの2000GT。語り継がれるべき逸品が誕生した。



贈呈されたソラーレッドの2000GTを手にして思わず笑顔がこぼれた細谷四方洋さん。ちなみに細谷さんがレースで使用するマシンは赤いボディと決まっていた。

2015年11月に京商から発売されたモデルカーの2000GTが話題を呼んでいる。プロポーションにこだわり、1/12という大型サイズながら、あえてギミックを控え、レジンキャストでの成形とした精巧なモデルカーだ。2000GTの開発メンバーでもあり、チーム・トヨタのキャプテンを務めた、レジェンドドライバーの細谷四方洋さんが、そんなモデルカーの「samurai」2000GTを手にした。

TEXT : NOSTALGIC HERO/編集部
PHOTO : TOSHIAKI HAYAKAWA/早川俊昭
COOPERATION : KYOSHO CORPORATION/京商



細谷四方洋さんを昂ぶらせたモデルカー samurai 2000GT

「確かに2000GTだ」。手渡されたモデルカーをじっくりと見た後、細谷四方洋さんはそうつぶやいた。実車のトヨタ2000GT開発にも携わった細谷さんの言葉だけに、とても意義深い。

11月の初頭、本誌のモデルカーコーナーで、2000GTの新製品情報を聞いた細谷さんは、すぐにメーカーである京商へ問い合わせの電話を入れた。その小さな写真からですら、細谷さんを動かす「何か」が寄せられていたということだろう。

実車開発に携わった細谷さんに興味を持ってもらったことは、メーカーとしても大変に栄誉なことだ。そこで、完成記念として、細谷さんにモデルカーを贈呈することとなったが、これは単なるセレモニーではなく、誰よりも実車を知る関係者から、実物を前に意見が聞ける貴重な機会でもある。

当日は、細谷さんが監修を行っていた2000GTレプリカのロッキー3000GTを製作・販売するロッキーオートファクトリーに関係者が集合。いわば、1/12サイズの究極のモデルカーを前に話をうかがった。

1/12という圧倒的な存在感を誇るモデルカーを手渡された細谷さんは、まずはにっこりとした笑顔となったが、その後、モデルカーを厳しい目でじっくりと見つめた。そしてじっくりと観察した後、満面の笑みと同時に出てきた言葉が冒頭の一言だったのだ。

京商の2000GTは、プレスラインやボンネット、フェンダー、ドアなどのチリ(ボディパネルの合わせ目)を正確に描き出し、ひたすら造形にこだわって、レジンキャスト製法を採用。徹底した計測から3Dキヤドデータを作



1/12 Scale Toyota 2000GT

●京商がsamuraiと名付けたモデルカーシリーズは、ギミックに頼ることなく、ひたすらプロポーションを追い求めたレジンキャスト製。シリーズ最大スケールとなる1/12サイズで登場したトヨタ2000GTは、シリーズ切っ掛けの自信作。カラーはベガスホワイトとソラーレッド。それぞれ、700台/300台の限定販売。⑩「そのプロポーションだけであなたを魅了する」と同社がうたうように、美しさが際立つ。⑪メッキの光沢感や計器類の位置・表記も正確に再現。シフトやサイドブレーキの形状も見事な出来栄。⑫⑬フォグランプやグリル、レンズハウジング、バンパーなどは形状だけでなく輝度まで正確に再現している。

●スケール:1/12 Scale ●カラー:ベガスホワイト、ソラーレッド ●サイズ:全長348mm×全幅134mm×全高97mm ●販売価格:各3万2,000円+税 ●発売日:2015年11月

【問い合わせ先】
京商ユーザー相談室
●ウェブサイト: <http://www.kyosho.com/jpn/>
●TEL:046-229-4115 (月~全・祝祭日を除く)13:00~19:00
●FAX:046-229-1501 (24時間受付)
●問い合わせフォーム:
<https://www.kyosho.com/jpn/support/index.html>

●samurai
JAPAN car premium quality resin model
samuraiシリーズは、日本の名車をテーマに工芸品へと昇華させた京商の新シリーズです。詳しくはwebをチェック!



1/1 ロッキー3000GTに驚嘆!

⑭細谷さんが監修する2000GTのレプリカ、ロッキー3000GT。パイプフレームで組まれたシャーシにFRPのボディを架装する手法は、いわば究極の1/1モデルカーとも言える。今回、贈呈式の場を提供していただいたロッキーオートの渡辺喜也代表(右から2番目)を囲んでの談話は、モデルカーメーカーのスタッフにも参考になったようだ。⑮後ろに写っている木製のマスターボディは、モデルカー製作の手法と同様に3Dキヤドデータから成形したものだ。⑯ロッキー3000GTと京商のモデルカー、どちらもその完成度の高さは特筆に値する。



SPECIAL THANKS : ロッキーオート 0564-66-5488
<http://www.rockyauto.co.jp>

Nostalgic Hero

Impressive Classic Car Magazine
ノスタルジックヒーロー

特別付録ノスヒロ特製
2016年カレンダー



TOP ARTICLE ● 特集 *My Dearest Skyline*

親愛なるスカイライン

KPGC10スカイラインHT 2000 GT-R / PGC10スカイライン 2000 GT-R /
GC10スカイライン 2000 GT / KGC110スカイラインHT 2000 GT-X /
PGC10スカイライン 2000 GT-R グレートレース参加車

● 注目記事

ENDLESSが挑む 美麗ヨタハチへの道 [前編]
誌上「多摩川スピードウェイ」回顧展

Vol. 173

Nostalgic 2days

2/20-2/21 2016
at Pacifico YOKOHAMA

・パシフィコ横浜で
ノスタルジックヒーローと
ハチマルヒーロー
ノスタルジックスピードが
8回目のイベントを開催!



● 第2特集 イベント・フラッシュ!

JCCAエンデュランス筑波ミーティング
門司港レトロカーミーティング
瀬戸内クラシックカー&2輪車ミーティング
日本自動車博物館 トヨタスポーツ800誕生50周年
ナゴヤクラシックカーミーティング ほか

● 好評連載

全日本保護指定旧車協会 マツダ・ルーチェSS
輸入車版懐古的勇士 ランボルギーニ・カウンタック
グッドカー・グッドシーズン スカイラインHT GT-R
あの時代、あのクルマ 1961年編

● 次号は2016年3月1日発売予定です

2

2016
FEBRUARY